

安カ川大樹
contrabass

David Bryant
piano

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 01月09日 (日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600円~)

MC=3300円 +2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



安カ川大樹

1967年、兵庫県西宮市出身。幼少のころよりピアノを始め、明治大学入学後、「ビッグ・サウンズ・ソサエティ・オーケストラ」入部を機に、コントラバスをはじめ。牧島克彦氏、吉野弘志氏、吉田秀氏に師事。1991年、アルファレコードより、CD「Down under」に参加、プロ活動を開始する。96、97年にはマリーナ・ショー (Vo) の全国ツアーに参加。98年より、故日野元彦 (ds) のクインテットに抜擢され、CD「ダブルチャント (EWE)」に参加する。2001年より自己トリオ、ソロライブ活動を開始。2008年、レーベル D-MUSICA を立ち上げ、今までに30タイトル以上の意欲的な作品をリリース。2012.13.14年3年連続で、レーベルアーティストのイベント「ダイキムジカ祭り」を開催。ジャズライフ誌等に絶賛される。100枚を超える国内外のレコーディングに参加。TV、ラジオ等の出演、や国内外のジャズフェスティバルにも数多く出演。ジャズのフィールドだけにとどまらず、金子飛鳥ストリングスアンサンブル、加古隆「色を重ねて」公演、テレマン交響楽団との共演など幅広い活動も行なう。卓越した音楽センス、技量、スケールの大きなオリジナル曲、今最も注目を集めているベーシストである。



David Bryant

ニューヨークのブルックリン市生まれ。今世界のJazzシーンで注目を集めているピアニスト/作曲家/マルチインストゥルメンタリストです。アルバム「Dirt... And More Dirt」Henry Threadgill、「Serenade for Horace」(Blue Note Records) と「Return of the Jazz Communicators」Louis Hayes、「Synovial Joints」Steve Coleman、「Dezron Douglas - Live at Smalls」Dezron Douglas や、「Of Song」Marcus Strickland などからは、幅広く、繊細で、オリジナリティに溢れた演奏が聴き取れます。その他にも、アルバム「Outlook」Steve Davis、「Momentum」Myron Walden、「Future」Abraham Burton、「Water and Earth」Jeremy Pelt や、映画「Leatherheads」のサウンドトラックなどでは、サイドマンとしてフューチャーされています。共演したアーティストは、Christian McBride、Ravi Coltrane、Roy Haynes、Dave Holland、Delfeayo Marsalis、Louis Hayes、Henry Threadgill、Steve Coleman、Kenny Wheeler、Bob Brookmeyer、Jimmy Heath など。東京のCotton Club、North Sea Jazz Festival、Pori Jazz Festival、Stockholm Jazz Festival、Canary Islands Music Festival、Jazz on the River in St. Petersburg、Guimarães Jazz Festival in Portugal、Monterey Jazz Festival、Carnegie Hall など、世界中のフェスティバルやJazz Clubで演奏経験があります。